

使用ツール

## ロイロノート

活用シーン

- パートごとに歌の工夫を考える場面で、ロイロノートに配信した楽譜に自分の考えを書き込み、全体交流の場面でホワイトボードに映して実際に書いた楽譜を見ながら話をする。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 歌詞ではなく楽譜をよく見て印をつけたり考えを書いたりすることで、強弱記号やリズムの違いなどを細かく見ることができた。また、交流の時に大きく映すことができるので、実際にどこを工夫するのかが分かりやすい。

